

# 令和2年度第3回 全国健康保険協会和歌山支部評議会 議事録

開催日時：令和2年10月20日（火）10：00～11：20

開催場所：和歌山県民文化会館 特別会議室B

出席者：金川評議長、足立評議員、植田評議員、岡田評議員、貴彦評議員、小牧評議員、  
嶋本評議員、中村評議員（評議員五十音順）

令和2年10月20日に令和2年度第3回全国健康保険協会和歌山支部評議会を開催し、  
評議員9名中8名が出席、その概要は下記のとおりです。

## 議題

1. 2021年度～2025年度の収支見通しについて
2. 令和3年度保険料率に関する論点について
3. インセンティブ制度に係る令和元年度実績の評価方法について
4. 令和3年度支部保険者機能強化予算（案）について
5. 令和元年度近畿ブロック評議会について（報告）

議題1. 2021年度～2025年度の収支見通しについて

議題2. 令和3年度保険料率に関する論点について

関連する議題のため、事務局より資料に沿って一括して説明。

## 主な意見・質問

（学識経験者）

コロナ禍の被保険者や事業主の立場を考えると、平均保険料率は、今後も可能な限り増減しないことが望ましいと考える。

（学識経験者）

保険料の趣旨からして保険料率は単年度で設定していくことが基本で、例年引き下げるべきと申し上げてきたが、今年は従前どおりの意見を述べて良いのか悩ましい。コロナ禍で苦しいこのような時こそ保険料率を下げる事が望まれるが、今年はコロナ禍で不透明な状況でもあることから、令和3年度は中長期的な視野に立って10%を維持していくことも一つであるとする。

（事業主代表）

平均保険料率を10%以上上げるべきではない。新型コロナウイルス感染症は予想外で、事業所としては大変な状況である。将来を考えると少子高齢化は避けられない。10%維持については、今後も10%以上上げるなよということと理解している。そのためには、健診

受診率やジェネリック医薬品の使用率を上げるといった医療費を下げるという努力が必要と考える。

新型コロナウイルス感染症に対する PCR 検査や不妊治療の保険適用が広がり、今後、負担は増加していくことと思われるが、疾病予防対策やジェネリック使用促進は継続して行いつつも、国へ国庫補助の増額を要望するなど平均保険料率を 10%以上上げないようにしていただきたい。

(事業主代表)

事業所として、平均保険料率は 10%以上に上げてほしくない。

コロナ禍の状況や高額薬剤が増えていく環境を踏まえると平均保険料率 10%を死守していただきたい。

(事業主代表)

自社は工場であるが、新型コロナウイルス感染症の影響は否めない。同業者は 4 か月以上休業状態である。

資料 2 に経済情勢の悪化により令和 2 年 7 月時点で 770 億円の納付猶予が発生したとあるが、リーマンショックとは少し違うのではないかと、経済の停滞が長引くことにより保険料収入の減少等が予想される。このような先が見えない中で、平均保険料率は当面上げるべきではなく 10%を維持していただきたい。

(被保険者代表)

保険料率の変更時期は、例年どおり 3 月分(4 月納付分)からが良い。

平均保険料率は、下げてもらえるならありがたいが、他の評議員の意見と同様に新型コロナウイルス感染症がいつ収束するか不明な状況下である。令和 3 年度に保険料率を下げた結果、数年後に大幅に負担が大きくなるのは経営者側も労働者側も避けたいので、令和 3 年度平均保険料率は現状の 10%維持はやむなしと考える。

(被保険者代表)

準備金残高が 4.3 か月分とかなり大きい額が残っているが、コロナ禍における今後の見通しは、変動的で考えにくいところがある。

被保険者としては、大幅な上昇は厳しい。基本的には平均保険料率 10%を維持した上で、少しずつ変動していける方向が望ましいと考える。

(学識経験者)

基本的には医療保険は短期保険であるので、上げるときは上げる、下げられるときは下げると考えている。しかしながら、今回は先が読めない中長期的な視野を必要とするため他の評議員と同様に 10%維持に賛同したい。

ただし、一方で、中長期的にみて現在の国庫補助金の率が法定上限を満たしていない状況

であるので、国に対して提言していくことが今後の医療政策の観点からも必要と考える。

### 議題3. インセンティブ制度に係る令和元年度実績の評価方法について

事務局より資料に沿って説明。

- ①令和元年度実績にかかるインセンティブ分の保険料率は、当初方針どおり 0.007%で実施すること
- ②各評価指標の評価方法の変更について  
上記①②の事務局案について評議員から特段、意見や異議はなし。

### 議題4. 令和3年度支部保険者機能強化予算案について

事務局より資料に沿って前回評議会資料からの変更点を説明。

#### 主な意見・質問

《ラジオ広報の実施》

(学識経験者)

地域コミュニティ FM 放送でラジオ広報を実施とあるが、県内全域を対象とする地元ラジオローカル局で CM を実施するのは難しいのか。

(事務局)

地元ラジオローカル局では予算が超過してしまう。ラジオ CM の効果を測定するため、まずは令和3年度に地域コミュニティ FM 放送を実施したいと考えている。

(事業主代表)

番組や時間帯によりリスナーが異なるが、CM の差し込みはどのように検討しているか。

(事務局)

現在、予定している地域コミュニティ FM では、健康番組がないので作ってもらえるように相談することを考えている。可能であればその健康番組の中で CM を差し込むなど事業者と相談しながら作成していきたいと考えている。

(事業主代表)

田辺市及び白浜町でも各々地域コミュニティ FM 局があり、広告料も比較的安価であると思うので、是非検討していただきたい。

《地域情報誌への広告掲載》

(事業主代表)

予定している地域情報誌は、配布先や内容はどのようなものか。

(事務局)

和歌山市及び近隣の市町の保育園やスーパーなどにフリーペーパーとして設置されており、主に子育て世代を対象としたものである。

(学識経験者)

和歌山市では子育て層がよく見る情報誌であるので、子育て世代をターゲットとした広報は効果的であると思う。

令和3年度支部保険者機能強化予算案について異議はなく承認された。

## 議題 5. 令和元年度近畿ブロック評議会について（報告）

(事業主代表)

「健都」をバスで回って視察させてもらい下車したある公園では、たくさんの健康器具が置いてあり驚いた。また、この街は、どんな年代の方が中心に住むのか関心を持った。若い世代と年配の世代では、街の先行きが変わってくると思うので今後の街の将来に興味を抱いた。

(学識経験者)

久しぶりに吹田市を訪問したが、「健都」周辺は、近代化しておりその景色に驚いた。

大阪府は救急で運ばれる場合は、救急車で渋滞の中、何十分もかかると話があった。和歌山県であればヘリで運んでくれ平均 15 分で和歌山県立医科大学付属病院に着くため、安心できるイメージを持った。

健康器具の置いてある公園は、中国などでは良く見かけるが、これからの時代、高齢者の運動促進につながる良いアイデアである。

「健都」は未来志向でテストパターンかと思うが、近い将来、全国各地で一般的になって欲しい。

以上